

マレーシアのオリエンテーリング協会を訪ねたところ思いもしない大歓迎を受ける。

まずは現地で電話アボ

実は7/11にマレーシアオリエンテーリング協会の人に会っていたんです。

マレーシアの協会に連絡しようとIOFのページを見ると、マレーシアの協会は電話番号だけで、メールアドレスが載っていない。英語に自信がないので、またしても友人のエム氏に頼り、替りに電話をかけてもらった。ページに載っていた電話番号は、リーさんという人の個人の番号だったようだ。掛けてもらったら、さらにボスのウォンさんという人を紹介され、その人に電話すると、なんか大歓迎だったらしい。代理電話の事情を話すのがややこしかったので、エム氏がマレーシアに行くということにして話したら、会うのはもちろんOKで、何時のフライトで着くのかとか、どこのホテルに泊まるのかとか聞かれたそうだ。予想外の歓迎ぶり。

二日後、実際に会う詳細を詰めるため、自分で電話したんですが、いきなり失態。小銭をほとんど持っていなかったとはいえ、

『Hello?』

「アー、アーユーミスターウォン？」

『Yes.』

「アー、マイネームイ・・・」

ガチャン！ ツー、ツー・・・

切れるの早すぎ（泣）

慌ててコンビニに走り、1米\$を小銭にして30分後、掛け直しました。今度はちゃんと通じました。始めは僕を電話したエム氏と思ったようで（状況からして普通そう思うよなあ）名乗ったら『Oh, I know you』と言われたりしました（もちろん別の者だと説明しました。ややこしいのは嫌なので）が、それでも前もって話を通してしてくれたおかげで話やすかった。自分でいきなり電話していたら、地図が欲しいとか、訪問したいとか、走れないとか、説明するのに多分お金が足りてなかったでしょう。

結局、翌日朝九時にリーさんがホテルまでピックアップに来てくれることになりました。しかし平日のこの時間

に来てくれるということは、オリエンが仕事（少なくともその一部）なんだろうなあ、この人たちは。

リーさん登場

当日の九時、ユースの受け付けで待っていると、オリエンテーリングのワッペンをつけたベストを着た人が来ました。リーさんだ。ユース横の屋台で朝食後、リーさんの車でオフィスに移動。リーさんは45歳、ペナン島出身で、二年前にキャンプのなんかで日本に行ったことがあるらしい。クアラルンプール郊外の「EVER GREEN OUTDOOR CENTRE」というところに到着。アウトドアショップかレンタル屋のようで、テントやMTBが山のようにあります。その二階の一室がオリエンのオフィスになっています。と言っても、中には係の女性が一人いるだけでしたが。リーさんもウォンさんも、オリエンが専門というわけではなく、リーさんは「MALAYSIAN LEISURE AND RECREATION COUNCIL」のメンバー、ウォンさんは「DELTAROVERS」と名刺に書いてある。アウトドア関係のコーディネーターのような仕事かな？

早速地図をもらう（一緒にチェックカードとワッペンももらった）。なんか一杯ありますが、新しい奴はみんな耐水紙を使ってるし、作図もきちんとしています。てか、OCADを使っているのもありました。（バージョン6、8月に8が入るらしい）。地図に書いてある文字はマレーシア語なので意味がさっぱりですが、英語で記号説明してあるところもあって、通行可能で「B 敷 - slow run C 敷 - walk」とか「B 敷 - walk C 敷 - fight」とかあって面白い。まあ、大きく印刷がずれていたり、見るからに調査が作図で手間を掛けられてないと分かる部分も多いんですが。マーケット自体、小さいそうですが・・・

マレーシアの オリエンテーリング事情

マレーシアのオリエン人口は、やはり多くないそうです。学生などは卒業すると辞めてしまう者が多いとか。トレインは、ジャングルは使えないのでプランテーション、公園、大学などが

主になり、地図を作るのにも、大会を開くのに、当事者から政府に至るまで、多くのパーミットが何度も必要で、いろいろ難しいらしいです。マレーシアでは年に何度くらいオリエンイベントがあるのかと聞きましたが、各地で軍やクラブがそれぞれやっているのによく分からないとのこと。日本と同じだなあ。

マレーシアは今急速に発展中なので、トレインが宅地やショッピングセンター、大学、ゴルフ場、道路などでだめになることがよくあるそうです。これも日本と同じ。

マレーシアの地図を見終え、リーさん自前の地図コレクションを見ていると、ウォンさんがやってきました。がっしりした感じの人です。なんか今、忙しいらしい。ウォンさんがスーベニールにコンパス入りの額をくれました。あの一、嬉しいけど荷物が増えるのは・・・日本に送るしかないな、これは。というか、個人オリエンティアがふらりと来ただけなのにこんなに歓迎してもらえとは思いませんでした。

ウォンさんは、将来、マレーシアと日本のオリエンティアが交換留学生のように行き来できればいいと話していました。交流は大事です。本当にそうならいいなあ。最後に記念写真を撮り、帰国後にメールで送ることを約束して辞去。

マレーシア森林研究所へ

再びリーさんの車で、近くのトレインに連れてってもらいました。まずは、フリム（マレーシア森林研究所）。70年前にスズの廃坑と野菜畑と森だったところを買収して、森に戻したという立派なところ。地図は真緑だけど、ここにいるというリーさんのオリエン仲間を尋ねるも、留守。仕方ないので車でざっとトレインを回り、森の中へ。確かに藪いが、関西や中国地方を見慣れている身にはそんなにえげつなくも感じない。地図は、嘘は付いてないが、クリアリングや道の脇のちょっとした空き地など、僕の感覚では取った方がいいものをすっ飛ばしてるのがいくつかありました。あの一、いくら緑の中の道とはいえ、今年作図した地図で、道が正しく取れてないのはやばいんじゃない。

関係ないけど、この国では山や公園の溪流の中にウェディングドレスを着た女性が入っていき、それをカメラマンが撮影するという光景をよく見かけます。汚れないようにパンツが見えるくらい捲り上げて移動していますが、それでも汚れると思うんですが、何してるんだろう。

昼食はジャスコのフードコート「Mr. TEPPANYAKI」で日本食。久々のお箸。リーさんが抹茶アイスを珍しそうに食べていました。これもおごり。リーさん曰く、「君、今日はゲストだから払わなくていいよ」とのこと。

もうひとつ

ユースセンターの公園へ

食後、リーさんのオフィス（また別）のある、ユースセンターに行きました。スイミングプールなどのスポーツコンプレックスのある一画で、この裏手の公園がトレインだそうです。でもその前に、リーさんの上司に引き合わされました。リーさんの組織の一番トップで、マレーシアオリエンテーリング界最大の味方、WASITAH さん（ムスリム女性でした）とあって、「INTERNATIONAL YOUTH CENTRE FOUNDATION」のトップの人、そして「ASIAN YOUTH COUNCIL」の EXECUTIVE SECRETARY、SALEHUDIN さんを紹介してもらいました。だから、オフィシャルな訪問じゃないんだってば。恐縮しっぱなし。ちゃんとリーさんに、僕はどの組織にも所属してないって明言してるんですが、珍客なので会わせたいんだろうな。

で、トレイン。今ニューマップを作成中で、旧マップのコピーしかないとのことでしたが、池と丘のある、こぢんまりした公園トレインでした。ブッシュが深く、短いパークのなら楽しめそうです。やたらと雨に降られ、じっくりとは見えなかったけど。

リーさんの車でユースに帰還。ジャスコで買ってもらったドリアンを食べ、お茶をして別れる。5時半。リーさんもなかなか楽しい人でした。

それにしても、とても有意義な一日でした。タイとはえらい違いです。心残り、コースを回れなかったことくらいだし。

（深山泰利 MIYAMA YASUTOSHI）

イチオシイベント

全日本大会（新潟） 3月23日

第29回全日本大会

平成15年3月23日（日）

新潟県中蒲原郡村松町

全日本大会も今度の3月で29回目を迎える。今度の全日本大会は新潟県。そこで新潟県オリエンテーリング協会の笹木さんに聞いてみました。

Q. 今回の全日本大会。ズバリ、トレインは期待できますか？

A. 今回開催する村松町は、平成5年に朝日オリエンテーリング大会を開催した場所でもあります。3月は雪解け直後で下草が少なく、大変見通しのよい林がひろがっています。御期待ください。

Q. 新潟と言うと豪雪地帯であるという印象を持ちますが、どうなのでしょう？

A. 今年の3月下旬の積雪状況ですが、村松町市街に雪はありませんでした。トレイン内には所々若干の雪が残っていましたが、競技に大きな支障がでるほどのものではありませんでした。大会当日もおそらく大丈夫だと思われます。ただし、車で県境を越えて参加される方は、スタッドレスタイヤ装着およびチェーン携行をお勧めします。

Q. 車での参加が便利なのでしょう？

A. 大会会場周辺には、多くの駐車場を確保してあります。車でのアクセスが便利です。

Q. その他の交通機関や宿泊についてのアドバイスをお願いします。

A. 村松町周辺には有名な温泉街がありますが、料金が若干高めです。新潟駅周辺にはビジネスホテルもありますので御検討ください。新潟駅からは、大会当日にシャトルバスを運行する予定です。電車等で新潟へ来られる方は、後ほどお知らせする「宿泊・シャトルバス申込書（仮）」を御利用ください。

Q. せっかく新潟まで行くのならオリエンテーリングだけでなくもっと楽しみたいという方が大勢いらっしゃると思います。大会会場の近くでお勧めの場所はありますか？

A. 会場近くには小さいお子さんが遊べる遊具が置いてある場所があります。こども連れの方にはもってこいの場所です。

走った後には、温泉を御利用ください。当地村松町には「さくらんど温泉」（会場より車で数分）がありますし、車でお帰りになる場合には、至る所に温泉があります。

時期が合わなくて残念なのですが、当地は桜の名所でもあり、県民が選んだ「新潟景勝百選」で、3位に選ばれています。しかし、大会当日は、よほどの暖冬でない限り咲いていません。

Q. オリエンテーリングマガジンの読者の皆さんにメッセージをどうぞ。

A. 新潟県で開催した公認大会は、越王（こしわ）（昭和58年）でみぞれ、別所虚空蔵尊（平成5年）で雨と、天気に恵まれず、トレインの良さを十分わかっていただけなかった大会でした。今回は素晴らしい天気のもと、面白いコースを皆さんに楽しんでいただければと思います。多くのかたの参加をお待ちしています。

今後、さらに詳しい情報を Web ページや大会会場でお知らせします。

<http://www.orienteering.com/~joc2002/>

*トレインへの立ち入り禁止について
今回の会場路なる地域周辺では、今までに3種類のO-Mapが作成されています。

1. 別所虚空蔵尊・さくらんど村松（以上新潟県OL協会'93）
 2. 愛宕山 オリエンテーリングパーマネントコース（新潟県OL協会）
- このエリアにおけるオリエンテーリング活動を目的とした立ち入りを大会終了まで禁止とします。